

S - L I N Kコントロールボード

a P C I - 8 3 7 5

ユーザーズマニュアル

安全上のご注意

この度は、S - L I N Kコントロールボード「a P C I - 8 3 7 5」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ここに示す注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐためのものです。

注意事項は、誤った取扱いで生じる危害や損害の大きさ、又は切迫の程度によって内容を「警告」と「注意」の2つに分けています。

「警告」や「注意」はそれぞれ次のことを知らせていますので、その内容をよくご理解なさってから本文をお読みください。

警告：この指示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡したり重傷を負ったりすることがあります。

注意：この指示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり、物に損害を受けたりすることがあります。



感電や火災の危険があります

湿気や水分の多いところ、風呂場などや水を扱うところ、雨のあたるところなどでの使用は絶対におやめください。感電することがあります。

ぬれた手で機器を取り扱うことは絶対におやめください。感電することがあります。

機器を分解したり改造したりしないでください。火災を起こしたり、感電したりすることがあります。

発熱、発煙、異臭など、もし機器に異常が生じた場合は、すぐにコンピュータ及び機器の電源を切ってください。そのまま使用すると、火災を起こしたり、感電したりすることがあります。

金属物やそのカケラ、水やその他の液体など、もし異物が機器の内部に入った場合は、すぐにコンピュータ及び機器の電源を切ってください。そのまま使用すると、火災を起こしたり、感電したりすることがあります。

目 次

安全上のご注意	i
警 告	ii
目 次	iii
ご注意	iv
製品の保証について	v
保証規定	v
1. 保証の範囲	v
2. 保証条件	v
1 製品概要と特長	1
1 - 1. 製品仕様概要	2
1 - 2. 外観図及び各部の機能	4
2 初期設定と実装	6
2 - 1. BSN (ボードセレクトナンバー) の設定	6
2 - 2. モードスイッチの設定	7
2 - 3. コンピュータ本体への実装	8
2 - 4. 外部機器との接続	10
3 プログラム開発の手引き	11
4 製品保守に関するご案内	21
4 - 1. 製品のメンテナンスについて	21
4 - 2. 製品のお問い合わせもついで	22
付録 お問い合わせ用紙	23

ご注意

1. 本製品の外観や仕様及び取扱説明書に記載されている事項は、将来予告なしに変更することがあります。
2. 取扱説明書に記載のすべての事項について、株式会社アドテックシステムサイエンスから文書による許諾を得ずに行なう、あらゆる複製も転載も禁じます。
3. この取扱説明書に記載されている会社名及び製品名は、各社の商標又は登録商標です。
4. 取扱説明書の内容を十分に理解しないまま本製品を扱うことは、絶対におやめください。本製品の取り扱いについては安全上細心の注意が必要です。取り扱い説明を十分に理解してから本製品をご使用ください。

製品の保証について

保証規定

1. 保証の範囲

- 1.1 この保証規定は、弊社 株式会社アドテックシステムサイエンスが製造・出荷し、お客様にご購入いただいたハードウェア製品に適用されます。
- 1.2 弊社によって出荷されたソフトウェア製品については、弊社所定のソフトウェア使用許諾契約書の規定が適用されます。
- 1.3 弊社以外で製造されたハードウェア又はソフトウェア製品については、製造元 / 供給元が出荷した製品そのままを提供いたしますが、かかる製品には、その製造元 / 供給元が独自の保証を規定することがあります。

2. 保証条件

弊社は、以下の条項に基づき製品を保証いたします。不慮の製品トラブルを未然に防ぐためにも、あらかじめ各条項をご理解のうえ製品をご使用ください。

- 2.1 この保証規定は弊社の製品保証の根幹をなすものであり、製品によっては、その取扱説明書や保証書などで更に内容が細分化され個別に規定されることがあります。したがって、ここに規定する各条項の拡大解釈による取扱いや特定目的への使用に際しては十分にご注意ください。
- 2.2 製品の保証期間は、製品に添付される「保証書」に記載された期間となり、弊社は、保証期間中に発見された不具合な製品について保証の責任をもちます。
- 2.3 保証期間中の不具合な製品について、弊社は不具合部品を無償で修理又は交換します。ただし、次に記載する事項が原因で不具合が生じた製品は保証の適用外となります。

事故、製品の誤用や乱用

弊社以外が製造又は販売した部品の使用

製品の改造

弊社が指定した会社以外での調整や保守、修理など

- 2.4 弊社から出荷された後に災害又は第三者の行為や不注意によってもたらされた不具合及び損害や損失については、いかなる状況に起因するものであっても弊社はその責任を負いません。
- 2.5 原子力関連、医療関連、鉄道等運輸関連、ビル管理、その他の人命に関わるあらゆる事物の施設・設備・器機など全般にわたり、製品を部品や機材として使用することはできません。もし、これらへ使用した場合は保証の適用外となり、いかなる不具合及び損害や損失についても弊社は責任を負いません。

1 製品概要と特長

本製品「aPCI-8375」は、CompactPCI Rev2.1 に準拠した S-LINK コントロールボードです。S-LINK とは、サンクス株式会社が独自に開発した通信方式による省配線システムです。

製品の特徴

- (1) 本ボード 1 枚で最大 1 2 8 点の入出力ポートの制御が出来ます。
- (2) 4 芯フラットケーブルで 2 0 0 m (ブースタ使用時は 4 0 0 m) まで伝送可能です。

なお、本書では aPCI-8375 の使用方法のみ解説しておりますので、S-LINK システムについてお知りになりたい方はサンクス株式会社より発行されている「S-LINK 設計マニュアル」「S-LINK 施行マニュアル」等をご参照ください。

サンクス株式会社 URL : <http://www.sunx.co.jp>

製品構成

本製品は次の 4 点より構成されております。開封後、すぐにご確認ください。

1	aPCI-8375 本体	1 枚
2	ユーザズマニュアル (本書)	1 冊
3	お客様登録カード / 保証書 1	1 枚
4	3.5 インチフロッピーディスク(1.44MB)	1 枚

- 1 お客様登録カードにご記入の上、是非ともご返送ください。お客様がお買い求めになったボードに万一の故障があった場合などに素早く対応できます。また、よろしければ裏面のアンケートにもご協力下さい。
アドテックシステムサイエンスは今後もお客様の声を活かした製品作りを心掛けてまいります。

1-1. 製品仕様概要

・CompactPCI 側仕様

電源電圧	: + 5 V ± 5 % (1)
消費電流	: 2 1 0 m A [Typ.] 5 1 0 m A [Max.]
占有 I/O アドレス	: 6 4 バイト
ボードサイズ	: 3 U (1 6 0 mm × 1 0 0 mm)

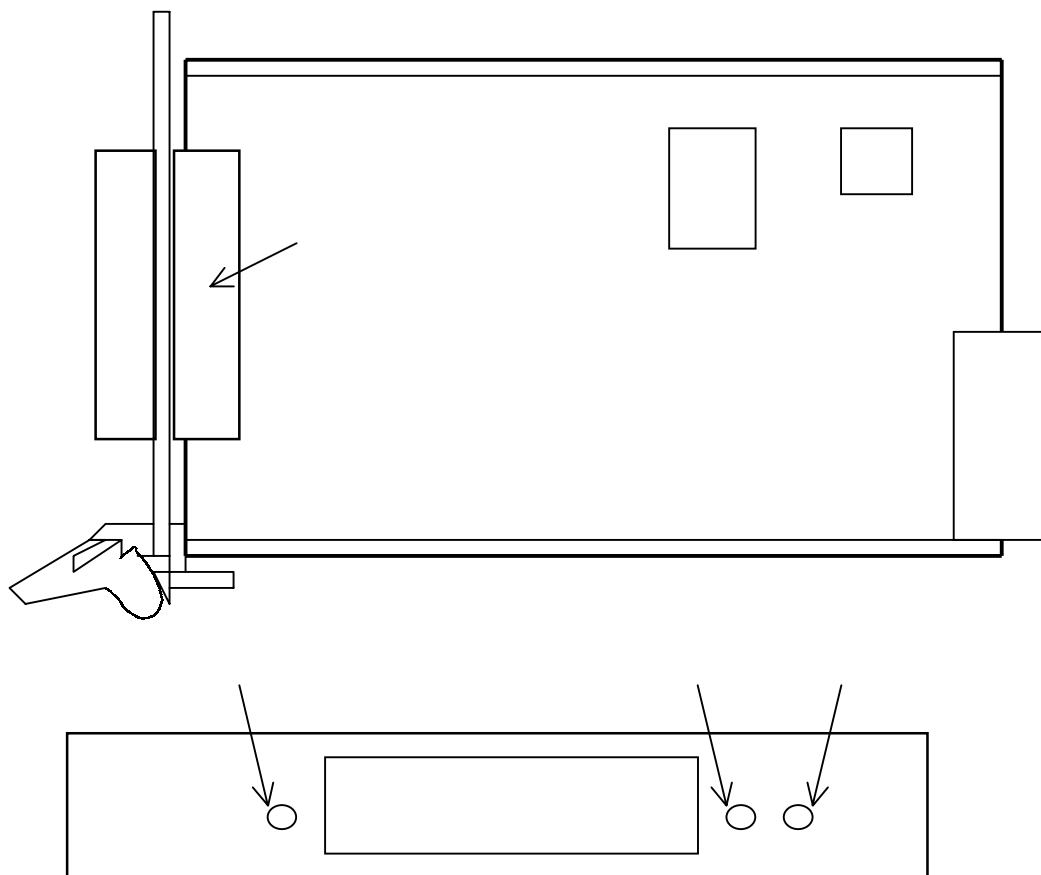
・S-LINK 側仕様

電源電圧	: + 2 4 V ± 1 0 % (1)
消費電流	: 1 . 6 A [Max.] (2)
+ 2 4 V 最大供給可能電流	: 5 A , ヒューズ 5 A 装備 (3) (S-LINK ユニット・負荷用)
伝送手順	: S - L I N K プロトコル
入出力点数	: 最大 1 2 8 点 (1 6 点単位で入力 / 出力設定可能)
F A N - o u t	: 3 2 0
伝送表示	: 緑色発光ダイオード 同期信号により点滅
エラー表示	: 赤色発光ダイオード エラー (E R R 1 ・ 3 ・ 4) 発生時点灯
アース方式	: フローティング

動作温度 (4)	: 0 ~ + 5 5
動作湿度 (4)	: 3 5 ~ 8 5 % R H (但し、結露しないこと)
保存温度 (4)	: - 2 0 ~ + 7 0
保存湿度 (4)	: 3 5 ~ 8 5 % R H (但し、結露および氷結しないこと)
耐ノイズ (4)	: 電源ライン : 5 0 0 V (ノイズパルス周期 1 0 m s , パルス幅 1 μ s 1 分間)
耐振動 (4)	: 1 0 ~ 1 5 0 H z ・ 複振動 0 . 7 5 mm X Y Z 各方向 2 時間 (非通電にて)
耐衝撃 (4)	: 9 8 m / s ² (約 1 0 G) X Y Z 各方向 3 回 (非通電にて)
絶縁耐圧 (4)	: 1 0 0 0 V A C 1 分間 (外部端子 - アース間)
絶縁抵抗 (4)	: D C 5 0 0 V にて 2 0 M 以上 (外部端子 - アース間)
E M C 適合規格	: E M I 規格 No . E N 5 0 0 8 1 - 2 E M S 規格 No . E N 5 0 0 8 2 - 2
使用可能機種	: CompactPCI バスを搭載したコンピュータ

- (1) + 2 4 V D C と + 5 V D C は、絶縁されています。
- (2) 消費電流は、接続される S-LINK 入力 / 出力ユニットに対して供給される最大の値 (D - G ラインのみ) と本ボードの消費電流の合計です。
- (3) 交換用ヒューズは付属していませんのでご準備ください。
(5 . 2 mm × 2 0 mm 、 5 A)
- (4) 本ボード単体での値です。コンピュータへの装着時は、本ボードとコンピュータの仕様のうち低い値に準じます。

1-2. 外観図及び各部の機能



CompactPCI J1コネクタ

CompactPCI バックプレーンに接続します。(2-3.「コンピュータ本体への実装」参照)

外部接続コネクタ (フェニックスコンタクト社製 MSTB2.5/10-G-5.08)

S - L I N K 機器及び 24V 電源に接続します。(2-4.「外部機器との接続」参照)

BSN (ボードセレクトナンバー) スイッチ

本ボードを複数枚同時に使用する場合に設定します。(2-1.「BSN の設定」参照)

モードスイッチ

S - L I N K システムの設定をします。(2-2.「モードスイッチの設定」参照)

システムセットボタン

システムセットボタンを押すと、S - L I N Kユニット接続状態を読み込み記憶します。以後この時の状態を基にE R R 4のチェックをします。

(注意)

- ・ E R R 4発生中にシステムセットボタンを押すとアドレスエラーは解除されますが、その時E R R 4発生原因が修復されていないと、以後そのE R R 4発生アドレスはチェック対象からはずれません。(そのアドレスのユニットは、S - L I N Kユニット未接続状態となります。)

伝送表示灯

S - L I N Kユニットとのデータ通信時に点滅します。(通信時：点滅，非通信時：消灯)

エラー表示灯

S - L I N K幹線上に異常が発生した場合、点灯します。

(注意)

- ・ E R R 4は、保持されます。解除は、「S - L I N K側電源(+ 2 4 V D C)」を再投入、「システムセットボタン」を押してのS - L I N Kユニット接続状態の読み込み、コンピュータ電源の再投入のいずれかで行われます。
- ・ エラー表示灯では、E R R 1・E R R 3・E R R 4の発生を区別することができません。「8 . フラグ」を使用してコンピュータ上のプログラムで確認してください。

2 初期設定と実装

2-1. BSN(ボードセレクトナンバー)の設定

本ボードを複数枚実装して使用するときは BSN の設定が必要となります。

BSN は 0 ~ F のどれかに設定し、それぞれのボードのナンバーが重ならないように設定してください。

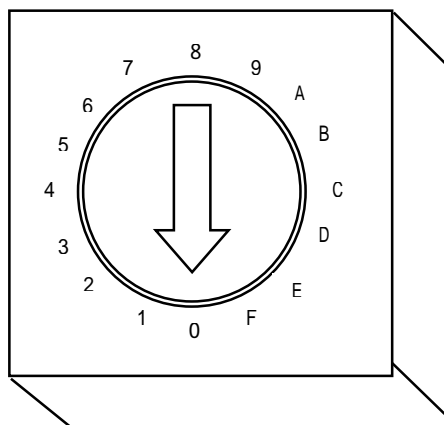
1 枚のみの実装で使用するときは出荷時の設定で変更の必要はありません。

本ボードは、最大 16 枚使用することができます。

BSN の設定は、SW1 のロータリスイッチで行います。

・ BSN 設定一覧表

SW1



SW1 設定値	Board Status
0	BSN=0
1	BSN=1
2	BSN=2
3	BSN=3
4	BSN=4
5	BSN=5
6	BSN=6
7	BSN=7
8	BSN=8
9	BSN=9
A	BSN=A
B	BSN=B
C	BSN=C
D	BSN=D
E	BSN=E
F	BSN=F

注：ご使用になるボードの枚数は、ご使用になる CPU ボードのリソース（I/O アドレスや IRQ など）によって制限される場合があります。

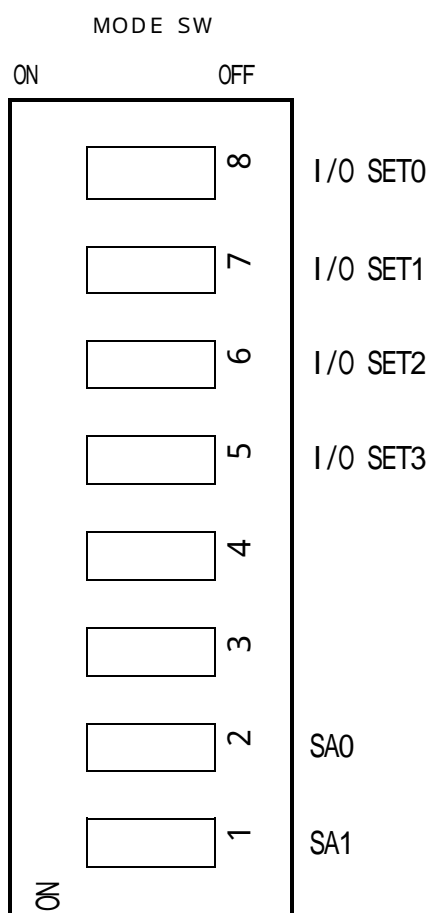
2-2. モードスイッチの設定

S - L I N Kシステムの設定を行います。

I / O設定スイッチ (I / O S E T 0 ~ 3) で入力 / 出力の設定、
システムアドレス長設定スイッチ (S A 0 ~ 1) でシステムアドレス長 (使用する S - L I
N Kユニットのアドレスの総数) の設定を行います。

I / O設定、システムアドレス長とも 3 2 アドレス単位ごとに設定できます。

設定は、コンピュータの電源投入時に 1 度だけ取り込まれます。動作中にモードスイッチを
変更しても無効です。



(ON = 0 , OFF = 1)

・ I / O設定スイッチ (I / O S E T 0 ~ 3)

I / O S E T	アドレス	ON	OFF
0	0 ~ 3 1	入力	出力
1	3 2 ~ 6 3		
2	6 4 ~ 9 5		
3	9 6 ~ 1 2 7		

(注意) プログラムで設定する場合は、すべて入力
[ON] に設定してください。

・ システムアドレス長設定スイッチ (S A 0 ~ 1)

システムアドレス長	S A 1	S A 0
3 2 点	OFF	OFF
6 4 点	OFF	ON
9 6 点	ON	OFF
1 2 8 点	ON	ON

例

- ・ S - L I N Kユニットのアドレス 0 ~ 6 3 が入力、 6 4 ~ 1 2 7 が出力設定の場合
... 7 と 8 を ON、 5 と 6 を OFF にする。
- ・ S - L I N Kユニットを全部で 1 2 8 アドレスを使用する場合
... 1 , 2 とともに ON にする

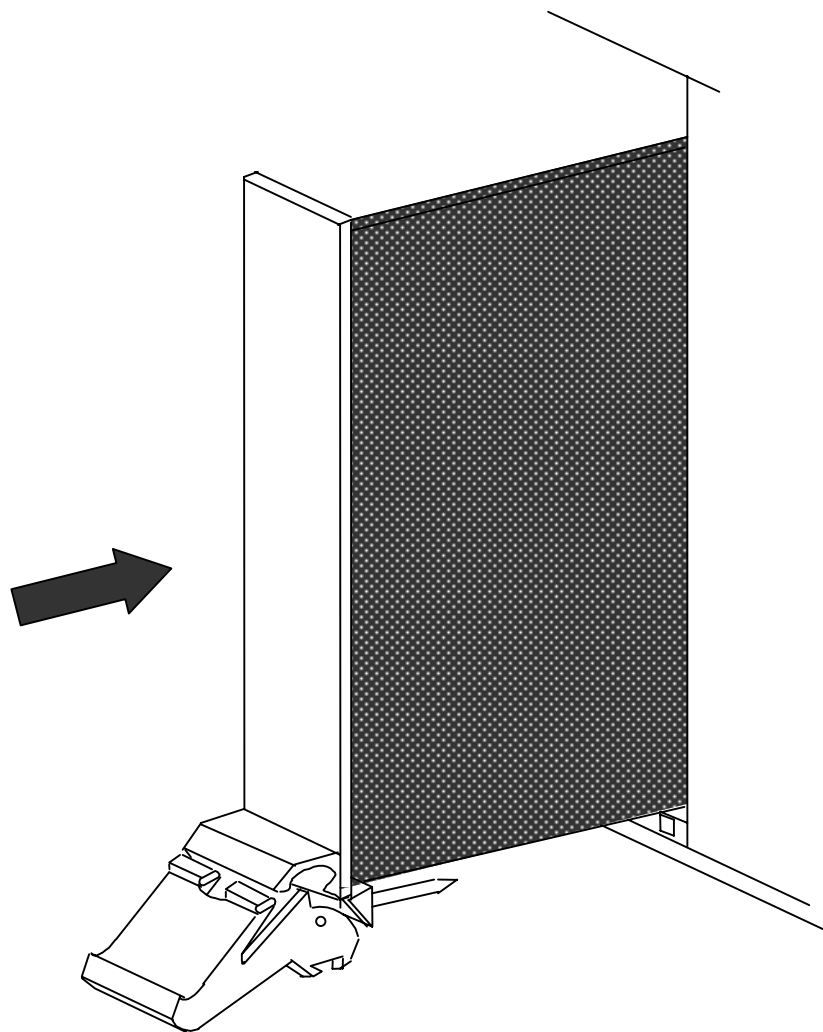
2-3. コンピュータ本体への実装

本ボードをコンピュータ本体に実装する方法を以下に示します。
コンピュータ付属のマニュアル等も合わせてご参照ください。

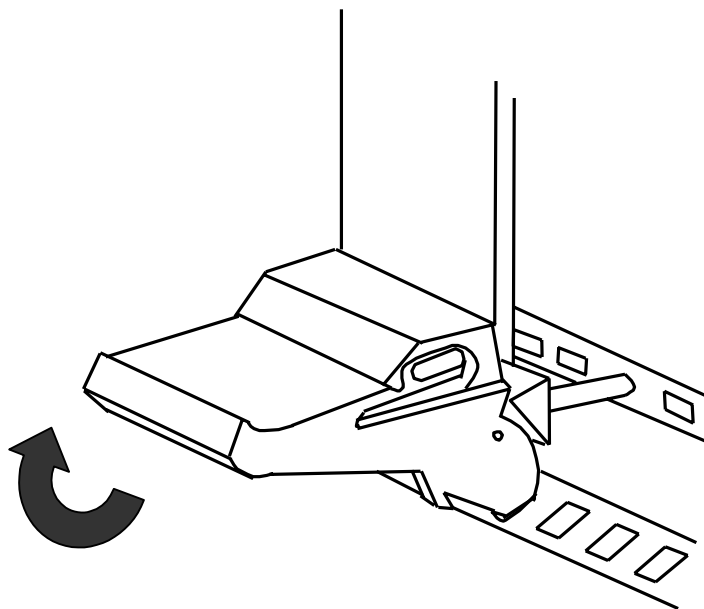
警告！

実装作業は必ずコンピュータの電源プラグを抜いた状態で
行ってください。
通電状態で作業を行うことは、システム本体、本ボードの破壊、
作業者の感電の恐れがあります。

(1) システムケースの空きスロットに本ボードを差し込みます。



(2) このとき、ハンドルをつめがひっかるまで挿入し、ハンドルを持ち上げ、確実に実装してください。



2-4. 外部機器との接続

C N 1：外部接続コネクタの信号表です。
表の色にS - L I N Kのケーブルを合わせて接続してください。
ポートBはループバック用のポートです。ループバックをしない場合は、ポートAのみ使用してください。

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
G	D	B	0	24	G	D	A	0	24
0	IN	24							

番号	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
名称	B				A				入力	
	G	D	0V	24V	G	D	0V	24V	0V	24V
色	黒	白	青	茶	黒	白	青	茶	外部電源入力	

端子台：MSTB2.5/10-ST-5.08（フェニックス・コンタクト社製）

3 プログラム開発の手引き

ハードウェア上のポート構成は、次のようになります。アプリケーションなどを作成する際に参考にしてください。

また、添付フロッピーディスクには、以下のOS（オペレーティングシステム）に対応したドライバ/ライブラリ・ソフトが入っています。詳しくは 添付フロッピーディスク内の "readme.txt" をご覧ください。

- ・MS - DOS 5 . 0以降
- ・Windows 95 / 98
- ・WindowsNT 4 . 0

ボードのI/Oマップ

(ADRS = ボードアドレス)

I/Oアドレス [16進数]	割り付け				
	バンク切り替え応答レジスタ				
ADRS + 00	00	01	02	03	
ADRS + 0F	S - LINK 入力/出力 (初期値)	ERR4 発生アドレス	S - LINK ユニット 接続アドレス	コントロールボード 製品情報 (バージョン等)	データ エリア
ADRS + 10	フラグ				
ADRS + 11	正常時: S - LINKユニット接続台数 ERR4時: ERR4発生先頭アドレス				
ADRS + 12	S - LINK 入力/出力 設定				
ADRS + 13	未使用 (= 00)				
ADRS + 14	バンク切り替え要求レジスタ (コンピュータ ボード)				
ADRS + 15	バンク切り替え応答レジスタ (ボード コンピュータ)				
ADRS + 16	システムセット				
ADRS + 17	フレームチェック				
ADRS + 18	ERR4発生台数				
ADRS + 19	S - LINKユニット接続台数				
ADRS + 1A	システムアドレス長				
ADRS + 1B	SL - BS1A動作停止アドレス				
ADRS + 1C	SL - BS1A接続アドレス				
ADRS + 1D	未使用 (= 00)				
ADRS + 1E	システム予約 (読み書き込み不可)				
ADRS + 1F					
ADRS + 20	ボードセレクトナンバー				
ADRS + 21	システム予約 (読み書き込み不可)				
ADRS + 3F					

ステータス
エリア

(注意)

- ・「 $ADRS + 00 \sim ADRS + 0F$: データエリア」は、バンク切り替え要求レジスタ・バンク切り替え応答レジスタの内容により割り付け内容が変わります。
- ・「 $ADRS + 00 \sim ADRS + 0F$: データエリア」への読み書きは、バンク切り替え要求レジスタとバンク切り替え応答レジスタの値が一致してから行ってください。
- ・「未使用」および「システム予約」への書き込みはしないでください。

ADRS+00～ADRS+0F：データエリア

「ボードのI/Oアドレス」と「S-LINKアドレス」の関係

ボードの I/Oアドレス [16進数]	S-LINKアドレス							
	bit7	bit6	bit5	bit4	bit3	bit2	bit1	bit0
ADRS+00	7	6	5	4	3	2	1	0
ADRS+01	15	14	13	12	11	10	9	8
ADRS+02	23	22	21	20	19	18	17	16
ADRS+03	31	30	29	28	27	26	25	24
ADRS+04	39	38	37	36	35	34	33	32
ADRS+05	47	46	45	44	43	42	41	40
ADRS+06	55	54	53	52	51	50	49	48
ADRS+07	63	62	61	60	59	58	57	56
ADRS+08	71	70	69	68	67	66	65	64
ADRS+09	79	78	77	76	75	74	73	72
ADRS+0A	87	86	85	84	83	82	81	80
ADRS+0B	95	94	93	92	91	90	89	88
ADRS+0C	103	102	101	100	99	98	97	96
ADRS+0D	111	110	109	108	107	106	105	104
ADRS+0E	119	118	117	116	115	114	113	112
ADRS+0F	127	126	125	124	123	122	121	120

「バンク切り替え応答レジスタ=00」の場合（初期値）

S-LINKユニットの入力データの読み出し、出力データの書き込みエリアになります。

入力の場合、各ビット"0"（入力OFF）/"1"（入力ON）が読み出せます。

出力の場合、各ビット"0"（出力OFF）/"1"（出力ON）を書き込みしてください。

（注意）

- ・出力は、次に出力データを書き込み更新するまで保持します。
- ・入力設定されているユニットアドレスに出力データを書き込んだ場合、書き込まれたデータは無視され、1.4～10.7ms後に再び入力データがセットされます。

「バンク切り替え応答レジスタ=01」の場合

ERR4が発生した時、対象となるS-LINKユニットのアドレスを示します。

各ビットが"1"の時、そのアドレスのS-LINKユニットにERR4（断線または入力/出力ユニット異常）が発生しています。

（注意）

- ・ERR4ユニットアドレスは、保持されます。解除("0")は、「S-LINK側電源(+24VDC)」を再投入、「1-2. システムセットボタン」を押してのS-LINKユ

ニット接続状態の再読み込み、コンピュータ電源の再投入のいずれかで行われます。

[バンク切り替え応答レジスタ = 0 2] の場合

S - L I N K 幹線上に接続されている S - L I N K ユニットのアドレスを示します。
各ビットが " 1 " の時、そのアドレスに S - L I N K ユニットが接続されています。

(注意)

- ・ 1 台で多点の入力 / 出力を装備している S - L I N K ユニットは、そのユニットの先頭アドレスの該当ビットのみ " 1 " になります。

[バンク切り替え応答レジスタ = 0 3] の場合

S - L I N K システムのバージョン情報 (A S C I I コード) が読み出せます。

ADRS + 10 : フラグ

S - L I N Kの動作状態を示します。

b i t	R / W	割り付け
7	R / W	通信フレーム完了確認 (" 1 "書き込み後の" 0 "で出力データ通信終了)
6	R / W	システムセット (1 : S - L I N Kユニット接続状態読み込み)
5	-	(= 0)
4	R	S - L I N K通信状態 (1 : S - L I N K通信中)
3	R	E R R 4 (1 : 断線または入力 / 出力ユニット異常発生)
2	R	E R R 3 (1 : D - G間電圧レベル異常発生)
1	-	(= 0)
0	R	E R R 1 (1 : D - G間の短絡発生)

(" R / W" 読み出し / 書き込み , " R" 読み出し)

b i t 0 ・ 2 ・ 3 : 「 E R R 1 ・ E R R 3 ・ E R R 4 」は、各エラー発生時" 1 "になります。

b i t 4 : 「 S - L I N K通信状態」は、S - L I N Kユニットとの通信中" 1 "になります。

b i t 6 : 「システムセット」は、「1-2. システムセットボタン」と同じ働きをします。
" 1 "の書き込みにより、その時のS - L I N Kの接続状態を読み込みます。
(S - L I N Kの接続状態読み込み終了後は、" 0 "になります。)

b i t 7 : 「通信フレーム完了確認」は、出力データがS - L I N K出力ユニットに転送されたかの確認をするために使用します。

同じS - L I N Kユニットに続けて違う出力をする場合、前に書き込まれた出力データがS - L I N Kユニットに転送されないうちに次の出力データが書き込まれると、前の出力データは無視されてしまいます。

出力データを書き込んだ後" 1 "を書き込むと、S - L I N Kユニットへ出力データを転送終了後自動的に" 0 "になります。プログラムで、" 0 "になったことを確認して次の出力データの書き込みを行えば、出力データ転送ミスが防げます。

(注意)

・ E R R 1 ・ E R R 3は、原因が復旧されるまで保持します。

またE R R 4の解除 (" 0 ") は、「 S - L I N K側電源 (+ 2 4 V D C) 」を再投入、
「1-2. システムセットボタン」を押してのS - L I N Kユニット接続状態の読み込み、
コンピュータ電源の再投入のいずれかで行われます。

ADRS + 11 : S - LINKユニット接続台数 / ERR 4発生先頭アドレス

[正常時] S - LINKユニット接続台数を示します。

bit	割り付け
7 ~ 0	正常動作時 : S - LINKユニット接続台数 1 ~ 128 (16進数の場合、01 ~ 80の範囲になります。)

(注意)

- ・複数のS - LINKユニットに同じアドレスが設定されている場合は、1ユニットとして計数します。

[ERR 4発生時] ERR 4が発生した、S - LINKユニットの先頭アドレスを示します。複数のアドレスにERR 4が発生している場合、bit 7 = "1"となります。

bit	割り付け
7	1 : 複数のERR 4が発生 (ERR 4台数 = 1の場合は、"0")
6 ~ 0	ERR 4発生時 : ERR 4発生先頭アドレス 0 ~ 127 (16進数の場合、00 ~ 7Fの範囲になります。)

(注意)

- ・「ERR 4発生先頭アドレス」は、保持されます。解除 ("0") は、「S - LINK側電源 (+ 24VDC)」を再投入、「1-2. システムセットボタン」を押してのS - LINKユニット接続状態の読み込み、コンピュータ電源の再投入のいずれかで行われます。

ADRS + 12 : S - LINK 入力 / 出力設定

S - LINKの入力 / 出力割り付けを設定または示します。

コンピュータの電源投入 / リセット直後は、「1-2. モードスイッチ」I / O設定スイッチ (I / O SET 0 ~ 3) の設定状態を示します。

プログラムで設定する場合は、I / O設定スイッチをすべて入力 ("0" : ON) にして書き込みを行ってください。

bit	割り付け
7	S - LINKアドレス 112 ~ 127 入力 / 出力設定 (0 : 入力, 1 : 出力)
6	S - LINKアドレス 96 ~ 111 入力 / 出力設定 (0 : 入力, 1 : 出力)
5	S - LINKアドレス 80 ~ 95 入力 / 出力設定 (0 : 入力, 1 : 出力)
4	S - LINKアドレス 64 ~ 79 入力 / 出力設定 (0 : 入力, 1 : 出力)
3	S - LINKアドレス 48 ~ 63 入力 / 出力設定 (0 : 入力, 1 : 出力)
2	S - LINKアドレス 32 ~ 47 入力 / 出力設定 (0 : 入力, 1 : 出力)
1	S - LINKアドレス 16 ~ 31 入力 / 出力設定 (0 : 入力, 1 : 出力)
0	S - LINKアドレス 0 ~ 15 入力 / 出力設定 (0 : 入力, 1 : 出力)

ADRS + 14 : バンク切り替え要求レジスタ

ADRS + 15 : バンク切り替え応答レジスタ

「 ADRS + 00 ~ ADRS + 0F : データエリア」のバンク切り替えに使用します。

まず本ボードの「 ADRS + 14 : バンク切り替え要求レジスタ」に数値
("00" ~ "03") を書き込みます。

すると本ボードは、1.4 ~ 21.4ms 後に「 ADRS + 00 ~ ADRS + 0F : データエリア」のバンクを切り替え、「 ADRS + 15 : バンク切り替え応答レジスタ」に切り替え後のバンク数値を表示します。

(注意)

- ・ 「 ADRS + 14 : バンク切り替え要求レジスタ」に"00" ~ "03"以外の数値を書き込んだ場合、強制的に"00"としてバンクを切り替えます。
- ・ 「 ADRS + 15 : バンク切り替え応答レジスタ」が切り替わるまでは、「 ADRS + 00 ~ ADRS + 0F : データエリア」には読み出し / 書き込みを行わないでください。

ADRS + 16 : システムセット

「 ADRS + 10 : フラグ」のbit 6 : システムセットと同じ働きをします。

"00"以外の数値の書き込みにより、その時のS - LINKの接続状態を読み込みます。
S - LINKの接続状態読み込み後は、"00"になります。

ADRS + 17 : フレームチェック

「 ADRS + 10 : フラグ」のbit 7 : フレームチェックと同じ働きをします。

「 ADRS + 00 ~ ADRS + 0F : データエリア」に、出力データを書き込んだ後 "00" 以外の数値を書き込むと、S - LINKユニットへ出力データを転送終了後自動的に "00" になります。

ADRS + 18 : ERR4発生台数

ERR4が発生した時の発生台数を示します。

解除 (= "00") は、「S - LINK側電源 (+ 24VDC)」を再投入、「1-2 . システムセットボタン」を押してのS - LINKユニット接続状態の読み込み、コンピュータ電源の再投入のいずれかで行われます。

ADRS + 19 : S - LINKユニット接続台数

S - LINKユニットの接続台数を示します。

ADRS + 1A : システムアドレス長

「1-2 . モードスイッチ」システムアドレス長設定スイッチ (SA0 ~ 1) で設定された、S - LINKのシステムアドレス長を示します
32・64・96・128 (点) いずれかの数値が表示されます。

ADRS + 1 B : S L - B S 1 A動作停止アドレス

ADRS + 1 C : S L - B S 1 A接続アドレス

ブースタ「S L - B S 1 A」の接続状態・動作状態を表示します。

S L - B S 1 A アドレス	接続アドレス		動作停止アドレス	
	b i t	割り付け	b i t	割り付け
0	0	ON : 接続 (= 1) OFF : 未接続 (= 0)	0	ON : 停止・異常 (= 1) OFF : 動作中 (= 0)
1	1		1	
2	2		2	
3	3		3	
4	4		4	
5	5		5	
6	6		6	

(注意) ブースタを未使用または「S L - B S 1」を使用している場合は、無効です。

ADRS + 2 0 : B S N (ボードセレクトナンバー)

「1-2 . B S Nスイッチ」で設定されたボードセレクトナンバーが読み出せます。

4 製品保守に関するご案内

4-1. 製品のメンテナンスについて

ハードウェア製品の故障修理やメンテナンスなどについて、弊社 株式会社アドテックシステムサイエンスでは、製品を弊社宛にお送りいただいて修理/メンテナンスを行いご返送する、センドバック方式で承っております。

保証書に記載の条件のもとで、保証期間中の製品自体に不具合が認められた場合は、その製品を無償で修理いたします。

保証期間終了後の製品について修理が可能な場合、または改造など保証の条件から外れたご使用による故障の場合は、有償修理となりますのであらかじめご了承ください。

修理やメンテナンスのご依頼にあたっては、保証書を製品に添え、ご購入時と同程度以上の梱包状態に『精密部品取り扱い注意』と表示のうえお送りください。

また、ご送付されるときは、製品が行方不明にならないよう、前もって受付け担当者をご確認ください。

製品が弊社に到着するまでの事故につきましては、弊社は責任を負いかねますので、どうか安全な輸送方法をお選びください。

以上の要項は日本国内で使用される製品に適用いたします。

日本の国外で製品を使用される場合の保守サービスや技術サービス等につきましては、弊社の各営業所にご相談ください。

有償メンテナンス

aPCI-8375に関してメンテナンス契約などをご希望の方は、弊社各営業所までお問い合わせください。

4-2. 製品のお問い合わせについて

お買い求めいただいた製品に対する次のようなお問い合わせは、お求めの販売店または株式会社アドテックシステムサイエンスの各営業所にご連絡ください。

- ・お求めの製品にご不審な点や万一欠品があったとき
- ・製品の修理
- ・製品の補充品や関連商品について
- ・本製品を使用した特注製品についてのご相談

技術サポート

技術的な内容のお問い合わせは、「ファックス」「郵送」「E-mail」のいずれかにて、下記までお問い合わせください。また、お問い合わせの際は、内容をできるだけ詳しく具体的にお書きくださるようお願いいたします。

お問い合わせは電話でもお受けできますが、電話の場合は、お問い合わせの内容によってはすぐにお答えできないことがありますので、あらかじめご了承ください。

技術的な内容のお問い合わせ先

株式会社 アドテック システム サイエンス テクニカルセンター 〒240-0005 神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町 134 YBP ハイテクセンター 1F Tel 045-333-0335 (テクニカルセンター直通) Fax 045-331-7770 E-mail support@adtek.co.jp

電話の受け付けは次のとおりです。

受付：月曜日～金曜日（ただし祝祭日や年末年始は休み）

時間：午前 10 時～12 時 / 午後 1 時～5 時

下記の弊社ホームページでは各種製品をご紹介します。また、ソフトウェアの最新版などをアップロードすることもありますので、どうぞご覧ください。

ADTEK SYSTEM SCIENCE Co., Ltd. Home Page http://www.adtek.co.jp

付録 お問い合わせ用紙

aPCI-8375 お問い合わせ用紙

年 月 日()

お名前:		会社名 (学校名)	
ご連絡先: 〒 TEL () - FAX () -			
製品名 : aPCI-8375		製造番号 :	
ご購入年月日 : 年 月 日		ご購入先 :	
ご使用状況			
ご使用パソコン : メーカー名 () 機種名 ()			
設定: 設定アドレス ()			
同時にご使用の拡張ボード			
製品名(機種)	メーカー名	バス形式	設定アドレス・割り込み状況など
お問い合わせ内容			

本書送付先: 〒240-0005 横浜市保土ヶ谷区神戸町 134

YBP ハイテクセンター1F

(株) アドテックシステムサイエンス
テクニカルセンター

TEL (045)333-0335 FAX(045)331-7770

E-mail support@adtek.co.jp

承認	回答	受付

必要に応じて、ソフトウェアリスト、接続方法、接続回路等の資料を添付してください。

CompactPCIシリーズ
S - L I N Kコントロールボード
a P C I - 8 3 7 5
ユーザーズマニュアル

初版発行 2000年2月22日
発行所 株式会社 アドテック システム サイエンス
〒240-0005 神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町134
YBPハイテクセンター 1F
電話 045-331-7575 (代) FAX 045-331-7770

落丁・乱丁はお取り替えいたします。

不許複製

CPCI-039-000222
© ADTEK SYSTEM SCIENCE Co.,Ltd. 2000